

活動第3期目に入った  
IPランドスケープ<sup>®</sup>推進協議会

# 経営とIPLの課題

～活動の実践とその成果～

IPランドスケープ<sup>®</sup>推進協議会

2022年9月15日

# プログラム

## ■ 基調講演 「取締役の知財に関する法的責任」

**杉光 一成** （金沢工業大学大学院（KIT虎ノ門大学院）イノベーションマネジメント研究科 教授  
（一財）知的財産研究教育財団 専務理事、IPランドスケープ推進協議会 幹事）



## ■ 企業活動紹介 「ニデックの知財活動 ～IPL活動を中心に～」

**石井 友也** （株式会社ニデック 知的財産部 知的財産課 課長）



## ■ 本会活動成果紹介 「“家庭用ロボットの展開・浸透のための方向性・戦略”への提案」

**吉田 伸** （東レ・ダウコーニング株式会社（ダウ・ケミカル・グループ）研究開発部門 知財戦略担当部長）



<進行役>

**荒木 充** （株式会社ブリヂストン 知的財産部門 部門長、IPランドスケープ推進協議会 代表幹事）



# IPランドスケープ推進協議会について

〈発足〉

2020年12月にキックオフ

2021年3月に第1回協議会を開催

# IPランドスケープ推進協議会 設立趣旨

---

AIやIoTに代表されるデジタル革新や新興国の台頭による世界経済の構造変化に加えて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大を受けて社会生活の変容が生じる等、企業を取り巻く環境はかつてないほど急激な変化を迎えている。同時に、SDGs（持続可能な開発目標）の目標に向けた取組やESG（環境、社会、ガバナンス）の推進等、企業に対する社会的な要請も高まっている。

企業にとって、このような状況変化に的確に対応して事業を展開していくことは大きな課題であり、多面的な視点から経営戦略を講じる必要性が高まっている。

DX(デジタルトランスフォーメーション)は、数年前からあらゆるビジネスにおけるキーワードとなっていたが、コロナ禍においてその普及や導入はさらに加速している。DXの意義については「デジタル技術を利用して既存の仕組みを変革し、新しい価値を生み出し、競争優位を確立すること」であると言えよう。一方、2017年7月には、知財情報を活用して経営判断に資するIPランドスケープ（IPL）の概念が国内知財業界に紹介されたが、IPLは、まさに知財分野におけるDXとも言える。これは、これからの「データ駆動型社会」における「データの利活用」の重要性を指摘している知的財産推進計画2020の方向性にも沿ったものである。

IPLは、現在、多くの日本企業に採用されつつあるものの、いまだ経営戦略に資するものとして十分に活用されているとは言えず、各社の取組状況にも相違がみられる。このような状況に鑑み、**IPLの推進によって、会員企業の事業競争力の強化及び知の探索による新たな価値創造の促進による企業価値の向上に加え、我が国の持続的な社会発展を促し、広く公益に寄与すること**を目的として、この度IPランドスケープ推進協議会を設立する。

# 会員企業

---

## 会員企業

64社（2023.9時点）

## 幹事企業

旭化成株式会社

KDDI株式会社

住友化学株式会社

ナブテスコ株式会社

パナソニック株式会社

富士通株式会社

株式会社ブリヂストン

本田技研工業株式会社

株式会社リコー

（50音順）

## アカデミア

KIT虎ノ門大学院 イノベーションマネジメント研究科

教授・Ph.D. 杉光 一成（敬称略）

## オブザーバー

特許庁、経済産業省、内閣府

# 協議会活動内容

---

1. IPランドスケープに対する意識合わせ（スコープ）やIPランドスケープが目指すビジョンを明確にするためのインタラクティブな情報共有と議論
2. 経営へ資する提言を行う人材像や行動指針などの提言研究
3. IPL導入の支援となる情報の発信
4. 関係省庁へのIPランドスケープ推進のための情報提供（施策の提案）

# IPL推進協議会の目標ビジョン



産業界が繋がらないと達成できない社会課題

サステナビリティ  
(カーボンニュートラル)

DX:デジタル活用社会  
(Society 5.0)

モビリティ変革  
(含 スマートシティ)

IPL協議会が貢献できるテーマ

## 《IPL機能の進化》

3



産業界が繋がる  
土壌形成に寄与する

業界を  
繋げる

- 社内外/業界を戦略的に繋げられる
- パートナーとのシナジー創出イメージが描ける

2



各社事業を強くする

意思決定  
できる

- 社内機能を戦略的に繋げられる
- 投資対効果の確度を高める

1



役に立つツール

可視化  
できる

- 事業環境の変化に気付ける  
(リスク・オポチュニティー検出力)
- 業界での自社位置が可視化できる

IPLの発展可能性

# IPL推進協議会 全体会と分科会



分科会1



分科会2



分科会3

IPLを深化させる  
技量を上げる



全体会

成果共有  
シナジー抽出

《後援》



内閣府  
Cabinet Office



METI  
Ministry of Economy, Trade and Industry

2022年  
分科会活動

9つの仮想IPL



リーダー



メンバー



アドバイザー

# プログラム

## ■ 基調講演 「取締役の知財に関する法的責任」

**杉光 一成** （金沢工業大学大学院（KIT虎ノ門大学院）イノベーションマネジメント研究科 教授  
（一財）知的財産研究教育財団 専務理事、IPランドスケープ推進協議会 幹事）



## ■ 企業活動紹介 「ニデックの知財活動 ～IPL活動を中心に～」

**石井 友也** （株式会社ニデック 知的財産部 知的財産課 課長）



## ■ 本会活動成果紹介 「“家庭用ロボットの展開・浸透のための方向性・戦略”への提案」

**吉田 伸** （東レ・ダウコーニング株式会社（ダウ・ケミカル・グループ） 研究開発部門 知財戦略担当部長）



<進行役>

**荒木 充** （株式会社ブリヂストン 知的財産部門 部門長、IPランドスケープ推進協議会 代表幹事）



**I P L 推進協議会**

**これまでの気付き**

**これからの挑戦**

# 1. よく見る

a) 真の強みは何？

【スコープ】「深さ」と「幅」を意識したい

【ユニークさ】何が”強み”になっているの？

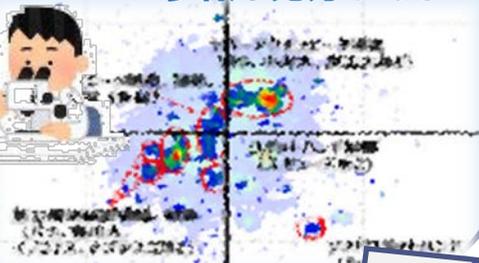
b) 潮流を見る



流れはどんなの？  
どこにいるの？



多様な見方がある



PDCA  
回す

# 2. 仮説を立てる

知財→価値の変換メカニズムは何？

《 3つの問い 》

① チャンス領域はどこ？

② そこで自社”強み”は活きるの？

③ どうやって稼ぎ出せるの？



なるほど！  
これならいける



# 3. 検証する

責任もって提案できる？

仮説の前提に置いているものは何？

前提がはっきりしてれば  
変化に対応できる



IPLで戦える！

偏りや死角は必ずある  
(謙虚さを忘れない)



楽勝なんて  
思っていると  
案外ダメ

経営TOPからの  
突っ込みに堪えるか  
(真のコミュニケーション)



ニャ！



# 偏りや死角は必ずある (謙虚さを忘れない)

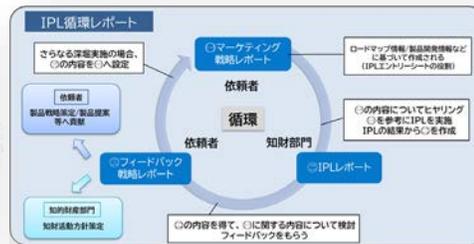
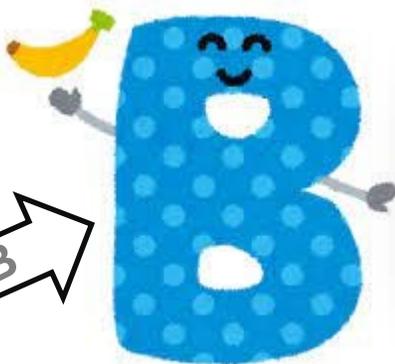
調査  
分析



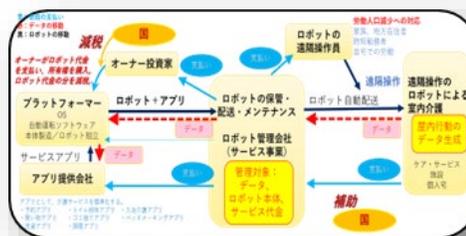
AならばB

因果パス  
仮説構築

AならばC



仮想IPL分科会で  
考え方・見方の違い  
(自社の偏り・死角)  
に気付ける!



産業界  
共通言語  
IPL

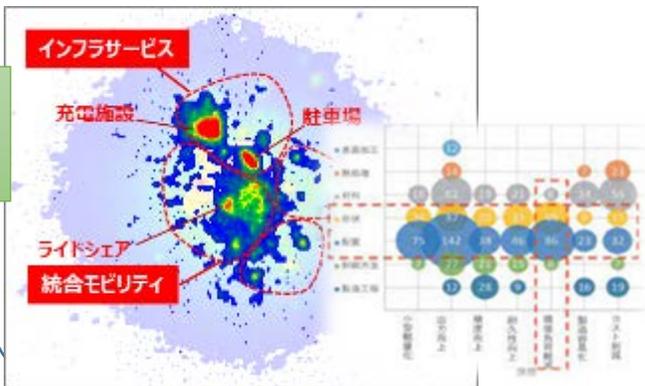
IPLで可視化 ➡ 相互尊重

- 強みの違い尊重
- 文化の違い尊重

《自社の強みとパートナーとの親和性・シナジーを見出すのがオープンイノベーション》

### 第1ステージ

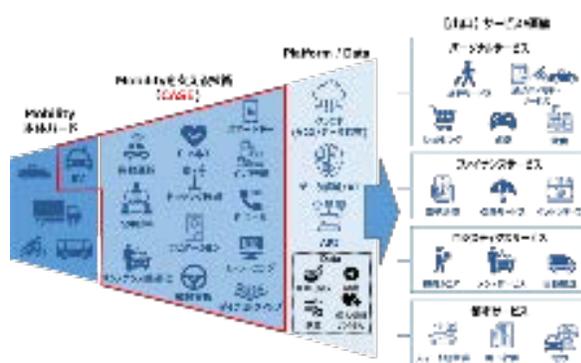
知財を可視化する  
リスクを見つける



知財経営  
IPL

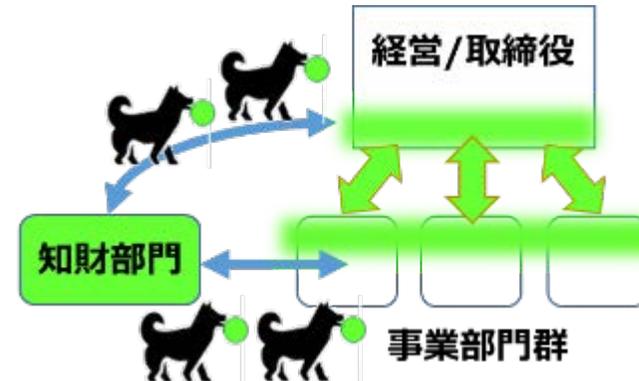
### 第2ステージ

事業価値に変換する  
因果パスに遡る



### 第3ステージ

全社内に浸透する  
(知財部だけじゃない)



「ここにリスクあります、チャンスあります」  
「調べといたからあとはよろしくね」  
では続かない 知財経営じゃない

➡ 知財屋が如何に事業チームに入っていくか

なぜIPLが要る？ ➡ 「筋の良さ」がわかる

〈外向き〉 業界の潮流と自社位置を可視化  
〈内向き〉 自社強み発現メカニズムを理解

➡ 知財投資の確からしさ(筋の良さ)を示す

IPLの深化とは？ ➡ 価値創出ツール

- ・ 傍観者ではなくチームメートになること
- ・ 無責任じゃない、コミットできるチカラ

➡ 事業価値創出ツールに進化していく

《自社の強みとパートナーとの親和性・シナジーを見出すのがオープンイノベーション》



【親和性】 自社にはなくて、自社強みと繋がる知財は何か？

【シナジー】 因果パス思想（文化）の違いまで理解できればシナジー出せる！

IPLで可視化  
Mgt.できる

産業界  
共通言語  
IPL

# I P L 推進協議会への参加をご検討ください

[知的財産教育協会 入会のご案内 \(ip-edu.org\)](http://ip-edu.org)



The screenshot shows the website for the Association of Intellectual Property Education (AIPE). The header includes the logo and name in Japanese and English, along with navigation links for 'Top', 'Site Map', and 'English'. The main content area features a large blue box with the text 'IPランドスケープ推進協議会'. Below this is a navigation menu with buttons for 'TOP', '設立について', '入会のご案内' (highlighted), and '会員一覧'. The '入会のご案内' section is active, displaying the text '入会のご案内' and a sub-section '会員制度'. A sidebar on the right contains a list of links: '知的財産管理技能検定', '協会の概要', '知的財産アナリスト', 'コンテンツビジネス無料公開セミナー', 'IPランドスケープ入門講座', '連携セミナー', '共催Webセミナー(2022年1月)', '中小企業センター', '表彰制度', and '講座企画サポート・講師派遣'.

知的財産教育協会  
Association of Intellectual Property Education

トップ | サイトマップ | English

ASSOCIATION OF INTELLECTUAL PROPERTY EDUCATION

HOME > IPランドスケープ推進協議会 > 入会のご案内

## IPランドスケープ推進協議会

TOP 設立について **入会のご案内** 会員一覧

### 入会のご案内

#### 会員制度

本協議会はIPランドスケープに取り組む多くの皆さまと共に活動をしていくために会員制度を設けています。現在、IPランドスケープを遂行している事業会社の会員募集中です。

- ▶ 知的財産管理技能検定
- ▶ 協会の概要
- ▶ 知的財産アナリスト
- ▶ コンテンツビジネス無料公開セミナー
- ▶ IPランドスケープ入門講座
- ▶ 連携セミナー
- ▶ 共催Webセミナー(2022年1月)
- ▶ 中小企業センター
- ▶ 表彰制度
- ▶ 講座企画サポート・講師派遣

# ご清聴ありがとうございました

## ■ 基調講演 「取締役の知財に関する法的責任」

**杉光 一成** （金沢工業大学大学院（KIT虎ノ門大学院）イノベーションマネジメント研究科 教授  
（一財）知的財産研究教育財団 専務理事、IPランドスケープ推進協議会 幹事）



## ■ 企業活動紹介 「ニデックの知財活動 ～IPL活動を中心に～」

**石井 友也** （株式会社ニデック 知的財産部 知的財産課 課長）



## ■ 本会活動成果紹介 「“家庭用ロボットの展開・浸透のための方向性・戦略”への提案」

**吉田 伸** （東レ・ダウコーニング株式会社（ダウ・ケミカル・グループ）研究開発部門 知財戦略担当部長）



<進行役>

**荒木 充** （株式会社ブリヂストン 知的財産部門 部門長、IPランドスケープ推進協議会 代表幹事）

